CH形ボックス・横長タイプ CH-YA 取扱説明書

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご使用の前に必ずこの説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
（この説明書は、必ず保管しておいてください。）

安全上のご注意

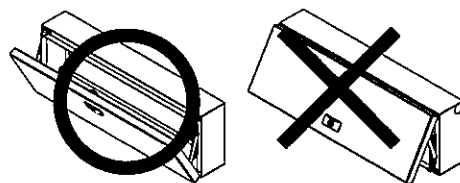
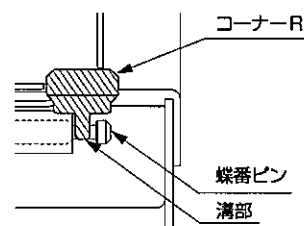
施工、使用（操作・保守・点検）の前に必ずこの取扱説明書とその他の注意書きをすべて熟読し、正しくご使用ください。
機器の知識、安全の情報そして注意事項のすべてについて熟読してからご使用ください。この取扱説明書では、安全注意事項のランクを「危険」「注意」として区分してあります。

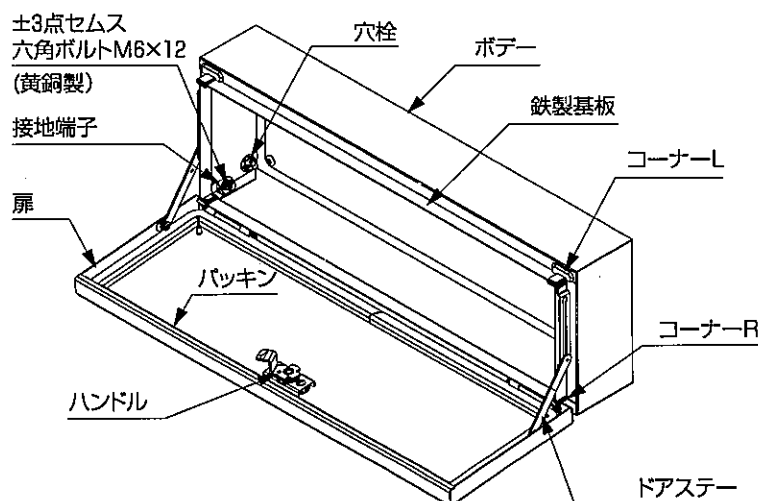
⚠危険	取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、死亡又は重傷を受ける可能性が想定される場合。
⚠注意	取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、中程度の傷害を受ける可能性が想定される場合、及び物的損害だけの発生が想定される場合。

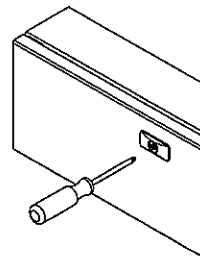
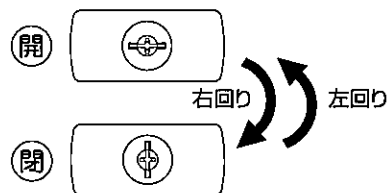
なお、⚠注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

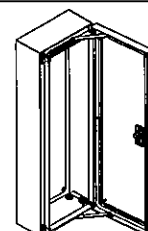
■使用上の注意

⚠注意

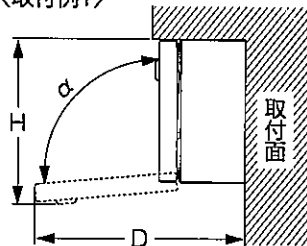
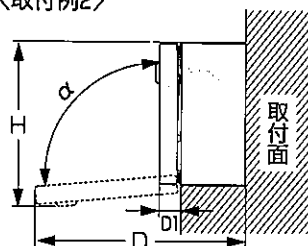
- 本製品は屋内専用です。屋外では使用しないでください。
- 腐食性ガスのある場所、粉塵・オイルミストの多い場所では使用しないでください。
- キャビネットの取付けは、十分な強度のある壁面に確実に固定してください。強度が十分でない場合キャビネットが落下し、機器の故障やケガの原因となる可能性があります。
- 本製品を扉が上開きになるようには使用しないでください。手を挟みケガの原因となる可能性があります。[図1]
- 本製品は製造ラインの下など低い位置で使用してください。高い位置で使用された場合、扉を開ける際に手で支えることができず、ケガの原因となる可能性があります。
- 扉の開閉時は必ず扉に手を添えてください。手を添えていないと勢いよく扉が開き、ケガの原因となる可能性があります。
- 扉の上には物を載せないでください。扉が変形する可能性があります。
- ハンドルは確実に閉めてください。不十分だった場合、扉が不用意に開いてしまい、ケガの原因となる可能性があります。
- 蝶番ピン抜け止め部品の「コーナーR」は蝶番ピンの溝部［図2］に確実に取付けてください。取付けが不十分の場合扉が落下し、機器の故障やケガの原因となる可能性があります。
- お客様にて塗装を行う場合、必ずコーナーL・コーナーR・穴栓などの樹脂部品やパッキンは取外してください。扉の落下やIP性能の低下により、機器の故障やケガの原因となる可能性があります。

[図1]

[図2]

■本体構造・各部名称

注）CH12-315YAにはドアステーはついていません。
製品ヨコ寸法=400㎜には右側に1箇所ついています。
製品ヨコ寸法=500、600㎜には両側に2箇所ついています。

■扉の開け方

＋ドライバー（呼び2番）、－ドライバー等にてハンドルを90度回転させてください。

⚠注意

キャビネットを縦長（扉を右開き）に使用する場合は、ハンドルの組替えが必要になります。本取扱説明書の裏面「ハンドルの組替え方法」の手順に従ってください。組替えを行わないと、振動等によりハンドルが回転し、扉が開く可能性があります。

■キャビネットの取付けについて

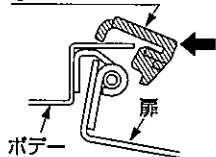
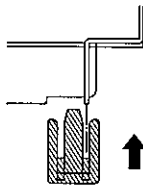
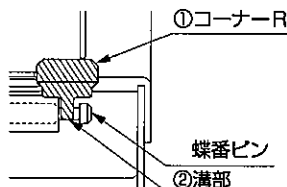
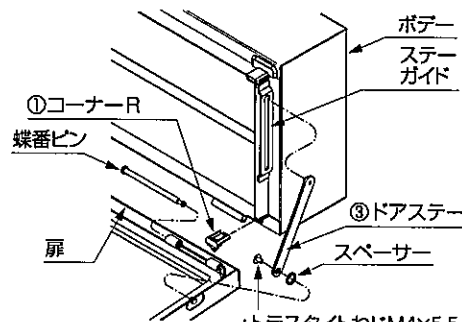
●キャビネットを設置する際は下表のスペースを確保してください。

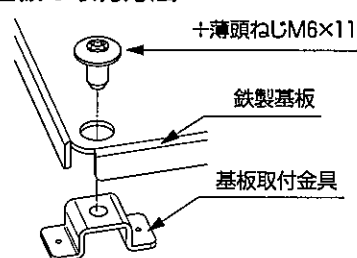
〈取付例1〉

〈取付例2〉

製品寸法(mm)		開閉角度	必要スペース(mm)		
フカサ	タテ	α	D1	D	H(注)
120	150	約110°	35以上	(260)	(240)
	200	約95°	30以上	(310)	(260)
	250			(360)	(315)
	300			(410)	(370)
160	200			(350)	(260)
	250			(400)	(315)
	300			(450)	(370)

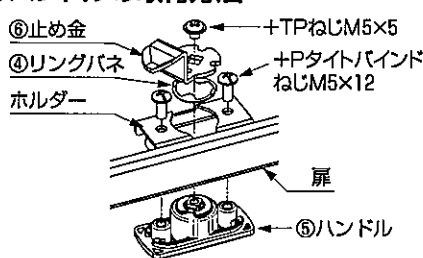
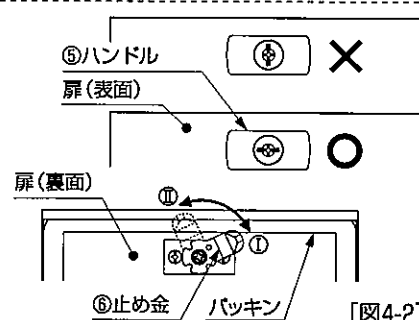
注）扉を開けた際に、扉と床面等に手を挟み込まないように、H寸法以上のスペースを確保してください。

■各部品の取付方法

●扉の取付方法

1) 扉とボデーの蝶番を合わせ、蝶番ピンを差込んでください。
2) コーナーR①を[図3-1、3-2]の位置でボデーコーナー部に押し込み、取付けてください。その際コーナーR①が蝶番ピン溝部②にはまっていることを確認してください。[図3-3]
3) ドアステー③を[図3-4]を参考に扉とボデーへ取付けてください。

[図3-1]

[図3-2]

[図3-3]

[図3-4]

●基板の取付方法

キャビネットサイズによって、対角2箇所止めと4箇所止めがあります。
・CH12-315YA‥‥対角2箇所止め
・上記以外の製品‥‥4箇所止め

●ハンドルの取付方法

[図4-1]

[図4-2]

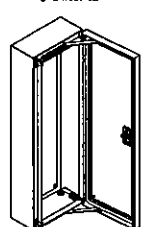
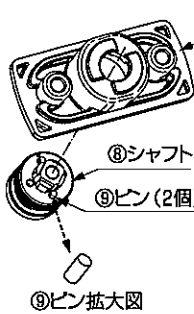
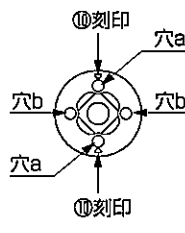
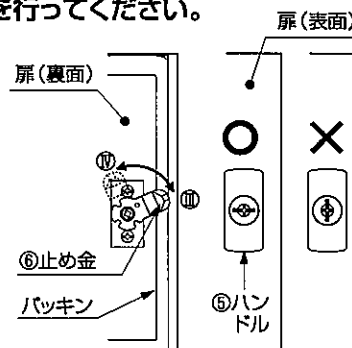
(1) リングバネ④はハンドル⑤と止め金⑥との間に入れてください。[図4-1]
(2) ハンドル⑤の一溝をヨコ向、止め金⑥を⑪の位置で取付けてください。[図4-2]
(3) 取付け後は止め金⑥を動かして「カチカチ」と音がすることを確認してください。

⚠注意

各種取付けねじは右表の適正トルク値を守り正しく締付けてください。締付けが不十分の場合、扉や搭載機器が落下する可能性があります。また、締付け過ぎの場合は、ねじ山やハンドルなどの組付け部品を破損する恐れがあります。

ねじの呼び	適正締付トルク
M4	147～245N・cm
M5	176～294N・cm
M6	294～441N・cm

■ハンドルの組替え方法

●キャビネットを縦長(扉を右開き)に使用する場合は、以下の手順でハンドルの組替えを行ってください。
(左開きで使用する場合は組替え不要です)

1) ハンドル本体⑦からシャフト⑧を取出してください。その際にピン⑨を落さないように注意してください。[図6-1]
2) ピン⑨を三角形の刻印⑩のある穴a(2箇所)から、刻印の無い穴bへ入替えてください。[図6-2]
3) ハンドル⑤の一溝をヨコ向、止め金⑥を⑪の位置で取付けてください。[図6-3]
4) 取付け後は止め金⑥を動かして「カチカチ」と音がすることを確認してください。

[図6-1] [図6-2] [図6-3]

仕様等、お断りなしに変更することがありますのでご了承ください。また、ご不明な点がありましたら弊社技術相談室にお問い合わせください。　この取扱説明書の内容は2008年12月現在のものです。

NITO 日東工業株式会社
技術相談室／愛知県愛知郡長久手町蟹原2201番地
TEL (0561) 64-0152
http://www.nito.co.jp

B829037920
SK-100A
日本製